

衆議院議員総選挙についての意識調査

平成22年2月

山形県選挙管理委員会

衆議院議員総選挙についての意識調査

1 目的

平成21年8月30日に行われた第45回衆議院議員総選挙について、有権者の投票行動を明らかにするとともに、政治と選挙に対する意識や関心などを探るために意識調査を行い、もって今後における効果的な選挙啓発のあり方を探る。

2 調査対象

山形県内に在住の有権者 1,000名(市町村の選挙人名簿から無作為抽出)

(内訳)

地域別	村山	477
	最上	73
	置賜	194
	庄内	256
男女別	男	536
	女	464
年代別	20代	89
	30代	120
	40代	126
	50代	181
	60代	195
	70代以上	289

3 調査時期及び方法

平成21年12月中旬から下旬にかけて、調査票を対象者に郵送し、対象者は記入した回答用紙を返信用封筒に入れ、県選挙管理委員会に直接返送する方法により実施

4 回答者数

482名(回答率 48.2%)

参考 前回(平成17年実施) 43.1%

(回答者数)






項目	回答者数	回収率
年代別	20代	22 24.7%
	30代	44 36.7%
	40代	54 42.9%
	50代	106 58.6%
	60代	120 61.5%
	70代以上	133 46.0%
	記載なし	3
計	482	48.2%

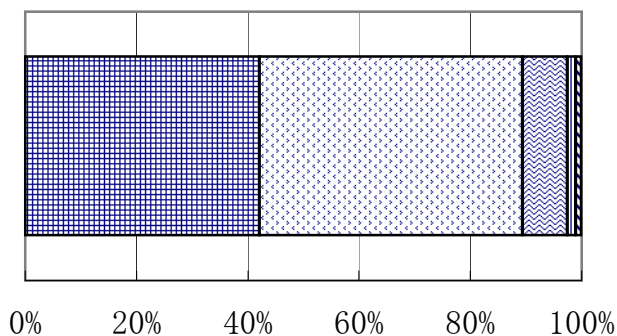
5 調査結果の概要

- (1) 政治に対する関心の程度・・・問1
 - 「政治に非常に関心がある」と「政治に多少関心がある」の合計は約9割となっている。
- (2) 今の政治に対する満足度・・・問3
 - 「やや不満である」と「かなり不満である」の合計は約7割となっている。
- (3) 選挙権について・・・問7
 - 「投票することは国民の義務である」と「投票することは国民の権利であるが、棄権すべきではない」が、いずれも約4割となっている。
- (4) 投票率の低下について・・・問8
 - 「別にかまわない」と「やむを得ない」の合計が約5割となる一方、「何らかの対策を講じるべきである」とする回答も約4割となっている。
- (5) 投票率低下の理由・・・問9
 - 「投票しても政治はよくなる」が約4割となっている。
- (6) 投票率上昇の対策・・・問10
 - 「選挙制度の改正などにより投票しやすい環境をつくるべき」や「政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべきである」がそれぞれ約3割となっている。
- (7) 投票に行った理由・・・問12
 - 「政治をよりよくするためには、投票することが大事」や「今の政治に不満があり、それを改めたい」といった意見がそれぞれ約3割となっている。
- (8) 選挙運動への関心・・・問19
 - 「非常に関心をもった」と「多少関心をもった」の合計は約8割となっている。
- (9) 投票の参考としたもの・・・問20
 - 「マニフェスト」、「新聞・テレビ報道」、「政見放送」及び「選挙公報」に高い関心が寄せられている。
- (10) 明るくきれいな選挙は行われたか・・・問22
 - 「行われていた」という回答が過半数に達している。
- (11) 印象に残る啓発活動・・・問24
 - 「テレビ広告」が約3割で、次いで「新聞広告」が約2割となっている。
- (12) 期日前投票制度の認知度と、同制度をどのような方法で知ったか・・・問26、27
 - 期日前投票制度の認知度については、「制度も投票方法も知っている」と「制度は知っているが、投票方法は知らない」の約9割となっている。また、制度をどのようにして知ったかという問いに対しては、「以前期日前投票をした」という回答が約4割となっている。
- (13) 投票所までの距離と交通機関・・・問30、31
 - 投票所までの距離については、「ちょうどよい」が約7割となっている。投票所までの交通機関としては「自家用車」が約6割で、次いで「徒歩」、「自転車」の順となっている。

衆議院議員総選挙に関するアンケート調査結果








問1 政治に対する関心の程度

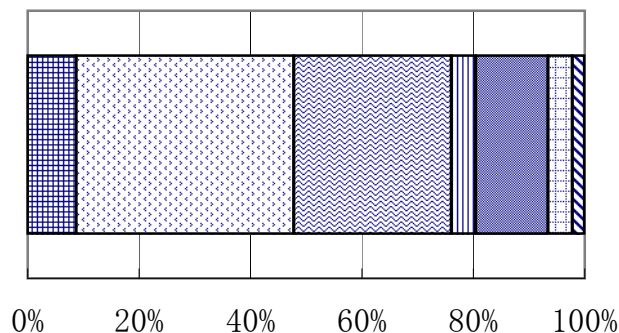
	非常にある	203	42.1%
	多少ある	228	47.3%
	あまりない	39	8.1%
	まったくない	7	1.5%
	無回答	5	1.0%



政治に対する関心の程度を尋ねたところ、有権者全体では、「政治に非常に興味がある」と「政治に多少興味がある」が合計で89.4%となっており、前回(81.4%)を上回っている。








問2 政治に関心がない理由

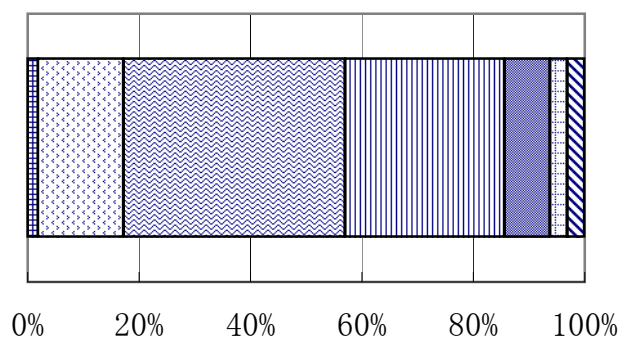
	暮らしに関係が薄い	4	8.7%
	意見が反映されない	18	39.1%
	むずかしくてわからない	13	28.3%
	考えるひまがない	2	4.3%
	関心がない	6	13.0%
	その他	2	4.3%
	無回答	1	2.2%



問1で「政治にあまり関心がない」又は「政治に全く関心がない」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「個人の意見が政治に反映されないから」が39.1%(前回:39.1%)、「政治はむずかしくてよくわからないから」が28.3%(前回:29.3%)の順となっており、前回と同様の傾向を示している。




問3 今の政治に対する満足度

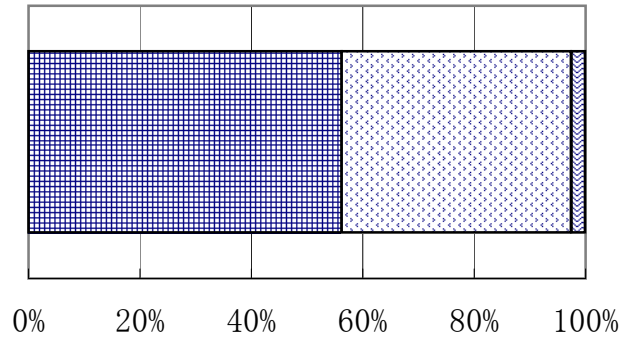
	かなり満足	9	1.9%
	まあまあ満足	74	15.4%
	やや不満	192	39.8%
	かなり不満	138	28.6%
	どちらでもない	39	8.1%
	わからない	15	3.1%
	無回答	15	3.1%



今の政治に対する満足度を尋ねたところ、「やや不満である」と「かなり不満である」が合計で68.4%(前回:65.0%)となっており、前回と同様の傾向を示している。






問4 支持政党の有無

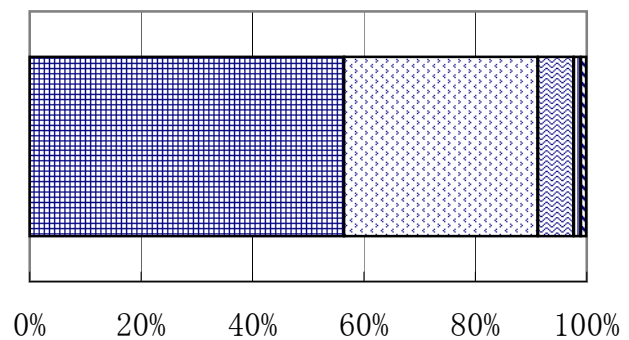
 ある	271	56.2%
 ない	199	41.3%
 無回答	12	2.5%



支持政党の有無について尋ねたところ、「支持政党がある」が56.2%となり、前回(53.3%)と同様の傾向を示している。






問5 総選挙への関心度

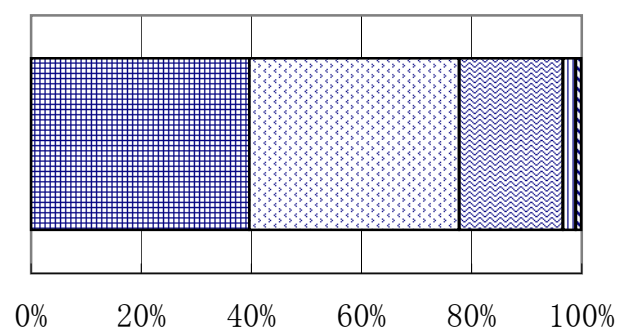
 非常にあり	272	56.4%
 多少あり	168	34.9%
 あまりなし	31	6.4%
 全くなし	6	1.2%
 無回答	5	1.0%



今回の総選挙について、どれくらい関心を持ったかを尋ねたところ、「非常に関心を持った」と「多少は関心を持った」が合計で91.3%となっており、前回(86.8%)を上回っている。







問6 投票率への関心度

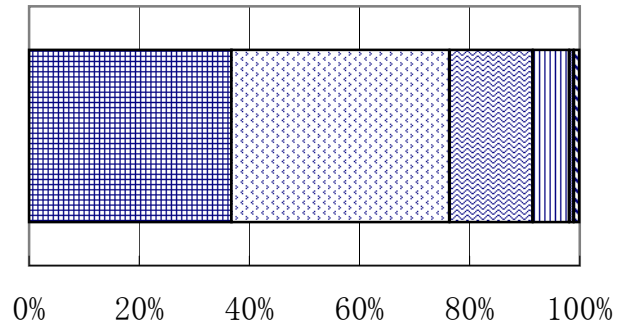
 非常にあり	191	39.6%
 多少あり	184	38.2%
 あまりなし	91	18.9%
 全くなし	11	2.3%
 無回答	5	1.0%



今回の総選挙の投票率の増減について、どれくらい関心を持ったかを尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少は関心をもった」が合計で77.8%となり、前回(78.1%)と同様の傾向を示している。






問7 選挙権について

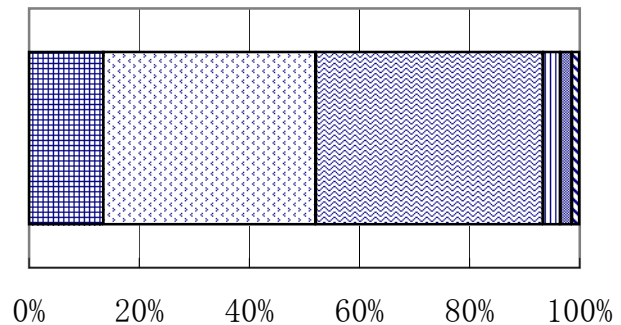
	投票は国民の義務	177	36.7%
	投票は棄権すべきでない	191	39.6%
	投票するしないは個人の自由	73	15.1%
	棄権も意思表示の一つ	32	6.6%
	その他	4	0.8%
	無回答	5	1.0%



選挙権(投票)についての考え方を尋ねたところ、「投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない」が39.6%、「投票することは、国民の義務である」が36.7%の順となっており、全体では、棄権すべきでないと考えている割合が76.3%と、前回(72.9%)と同様の傾向を示している。








問8 投票率の低下について

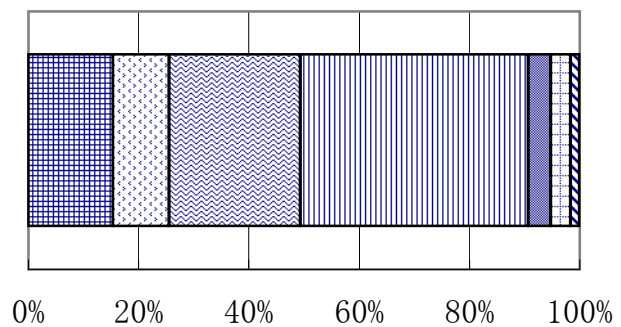
	別にかまわない	65	13.5%
	やむを得ない	186	38.6%
	なんとかすべき	199	41.3%
	わからない	15	3.1%
	その他	10	2.1%
	無回答	7	1.5%



近年の選挙における投票率の低下についてどのように思うか尋ねたところ、「別にかまわない」と「やむを得ない」が合計で52.1%と前回(50.1%)同様、過半数を超えているが、「何らかの対策を講じるべきである」が41.3%となっており、前回(40.1%)と同様の傾向を示している。

問9 投票率低下の理由

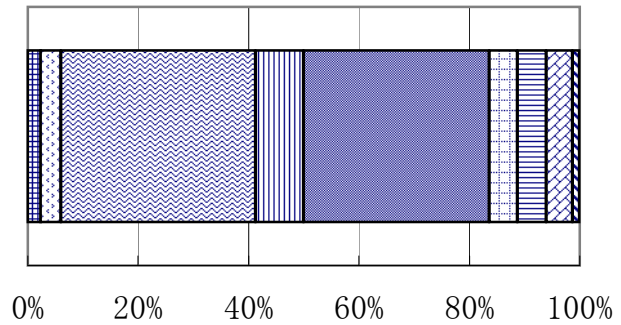
	政治より自分	74	15.4%
	支持できる政党や候補者がいない	49	10.2%
	政治不信や不満	115	23.9%
	政治はよくなるらない	199	41.3%
	その他	20	4.1%
	わからない	17	3.5%
	無回答	8	1.7%



投票率低下の理由を尋ねたところ、「投票しても政治はよくなるらない」が41.3%、「政治への不満や不信のあらわれ」が23.9%となり、前回と同様の傾向を示している。




問10 投票率上昇の対策

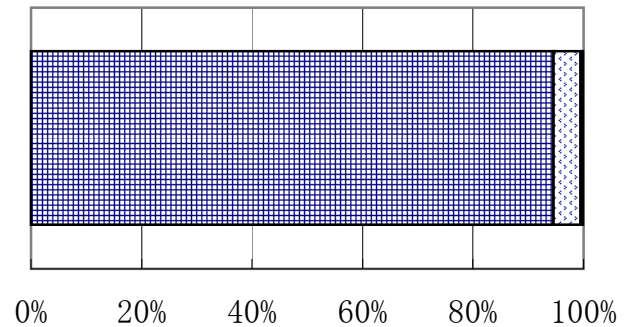
	棄権者に罰則	11	2.3%
	投票者を表彰	18	3.7%
	投票しやすい環境整備	170	35.3%
	選挙運動の自由化	42	8.7%
	教育啓発の強化	162	33.6%
	必要はない	25	5.2%
	その他	25	5.2%
	わからない	23	4.8%
	無回答	6	1.2%



投票率を上げるために、どのようなことを行うべきか尋ねたところ、「選挙制度の改正などにより投票しやすい環境をつくるべき」が35.3%、「政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべき」が33.6%の順となっており、前回と同様の傾向を示している。

問11 総選挙での投票

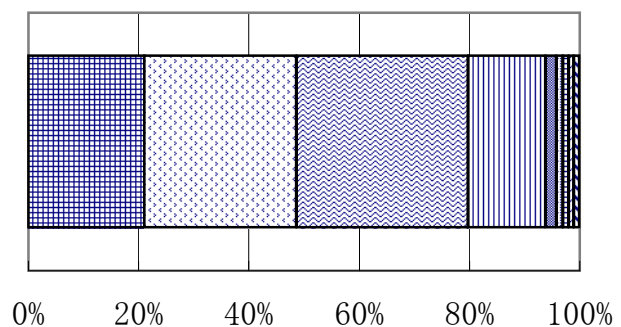
	投票した	456	94.6%
	投票しない	24	5.0%
	無回答	2	0.4%



今回の総選挙において投票したかどうか尋ねたところ、「投票した」が94.6%となり、実際の投票率より、本調査の回答者の投票率のほうが約20%高い。






問12 投票に行った理由

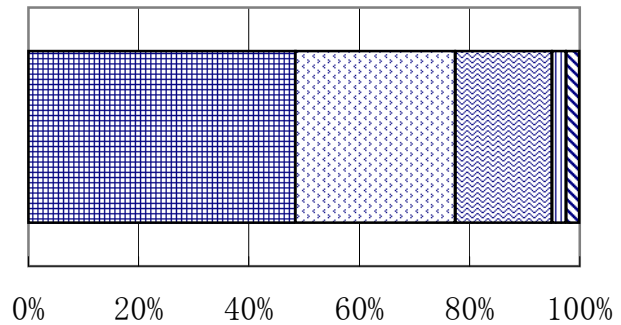
	支持政党や候補者がいた	96	21.1%
	政治への不満	126	27.6%
	投票することが大事	142	31.1%
	投票することが義務	64	14.0%
	知人等に頼まれた	9	2.0%
	投票日に予定がなかった	5	1.1%
	その他	5	1.1%
	わからない	4	0.9%
	無回答	5	1.1%



問11で「投票した」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「政治をよりよくするためには、投票することが大事」が31.1%と最も多く、次いで「今の政治に不満があり、それを改めたい」が27.6%、「当選させたい候補者や、応援したい政党があった」が21.1%の順となっている。







問13 候補者を選んだ動機(小選挙区選挙)

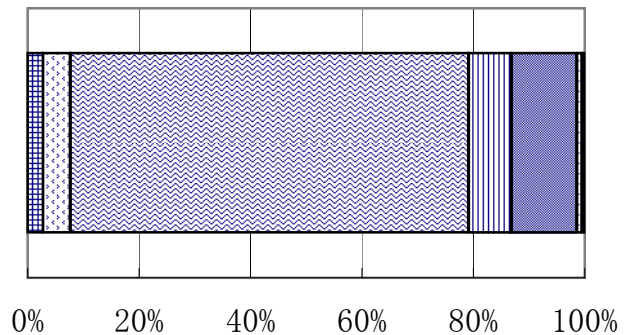
	政党を重視	221	48.5%
	候補者を重視	132	28.9%
	一概にいけない	80	17.5%
	わからない	12	2.6%
	無回答	11	2.4%



問11で「投票した」と回答した人に、小選挙区において候補者に投票する際に、「政党」を重視したか「候補者個人」を重視したか尋ねたところ、「政党」が48.5%(前回:42.9%)、「候補者個人」が28.9%(前回:33.2%)となっており、政党を重視した人が増加している。

問14 政党を重視した理由(小選挙区選挙)

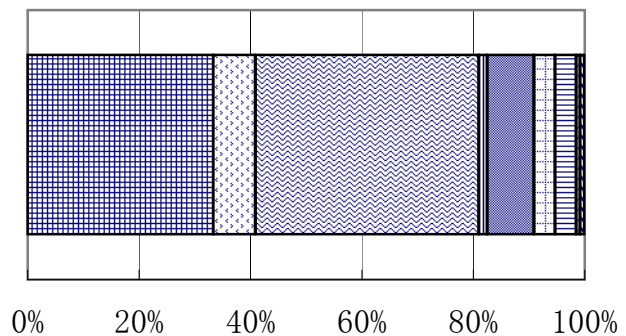
	私が党員	6	2.7%
	私が後援会員	11	5.0%
	政策を支持	158	71.5%
	その政党が好き	17	7.7%
	その他	26	11.8%
	わからない	2	0.9%
	無回答	1	0.5%



問13で「政党」を重視して投票したと回答した人に、その政党を選んだ理由を尋ねたところ、「その党の政策や活動を支持するから」が71.5%(前回:72.8%)と高く、前回と同様の傾向を示している。












問15 候補者を重視した理由(小選挙区選挙)

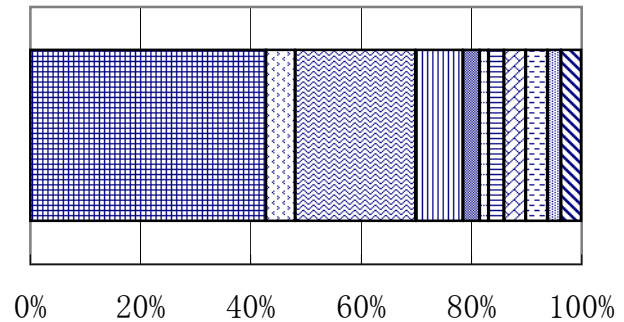
	人物が大切	44	33.3%
	私が後援会員	10	7.6%
	優れた人物	53	40.2%
	清潔な人物	2	1.5%
	安心できる人物	11	8.3%
	職場等のすすめ	5	3.8%
	その他	5	3.8%
	わからない	1	0.8%
	無回答	1	0.8%



問13で「候補者個人」を重視して投票したと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「識見や実績の点で優れているから」が40.2%(前回:38.1%)、次いで「小選挙区選挙はとにかく人物が大切だから」が33.3%(前回:34.4%)となっており、前回と同様の傾向を示している。






問16 政党を選んだ理由(比例代表選挙)

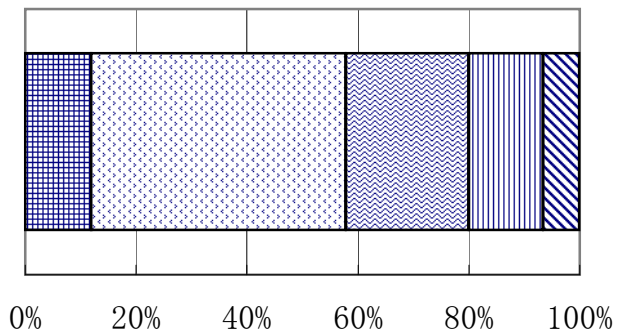
	政策や活動を支持	195	42.8%
	その政党が好き	24	5.3%
	他の政党よりまし	100	21.9%
	支持する人が党員	39	8.6%
	支持する人が名簿に登載	14	3.1%
	名簿登載者がよかった	7	1.5%
	職場などのすすめ	13	2.9%
	知人などのすすめ	18	3.9%
	その他	18	3.9%
	わからない	11	2.4%
	無回答	17	3.7%



問11で「投票した」と回答した人に、比例代表選挙において政党に投票する際に、その政党を選んだ理由を尋ねたところ、「その党の政策や活動を支持しているから」が42.8%(前回:42.1%)、「他の党よりましだから」が21.9%(前回:23.9%)となっており、前回と同様の傾向を示している。














問17 名簿は投票の判断材料に役立ったか(比例代表選挙)

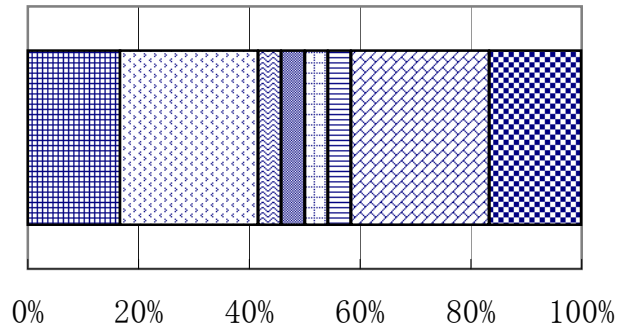
	大いに役に立った	54	11.8%
	ある程度役に立った	210	46.1%
	役に立たなかった	101	22.1%
	わからない	61	13.4%
	無回答	30	6.6%



問11で「投票した」と回答した人に、比例代表選挙において政党に投票する際に、候補者名簿がどの程度役に立ったのかを尋ねたところ、「大いに役に立った」と「ある程度役に立った」の合計は57.9%(前回:47.9%)となっている。




問18 投票しなかった理由

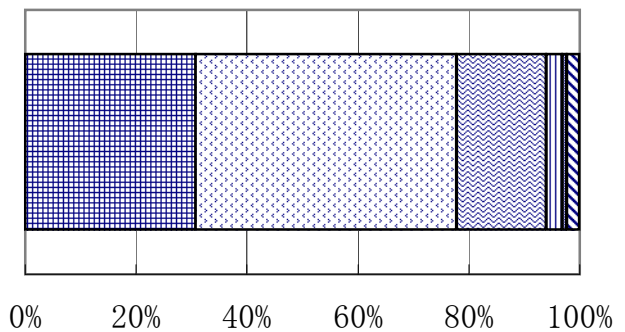
	用事があった	4	16.7%
	病気やケガ	6	25.0%
	面倒だった	1	4.2%
	関心がなかった	0	0.0%
	政策や人物がわからなかった	1	4.2%
	投票したい党や候補がない	1	4.2%
	投票しなくとも同じ	1	4.2%
	投票しても政治が変わらない	6	25.0%
	投票所の雰囲気がいや	0	0.0%
	選挙があることを知らなかった	0	0.0%
	その他	4	16.7%
	わからない	0	0.0%
	無回答	0	0.0%



問11で「投票しなかった」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「病気やけがのため」と「投票しても政治が変わらないと思ったから」がともに25.0%となっており、前回と同様の傾向を示している。

問19 選挙運動への関心

	非常に関心あり	148	30.7%
	多少関心あり	227	47.1%
	あまり関心なし	78	16.2%
	全く関心なし	14	2.9%
	わからない	4	0.8%
	無回答	11	2.3%

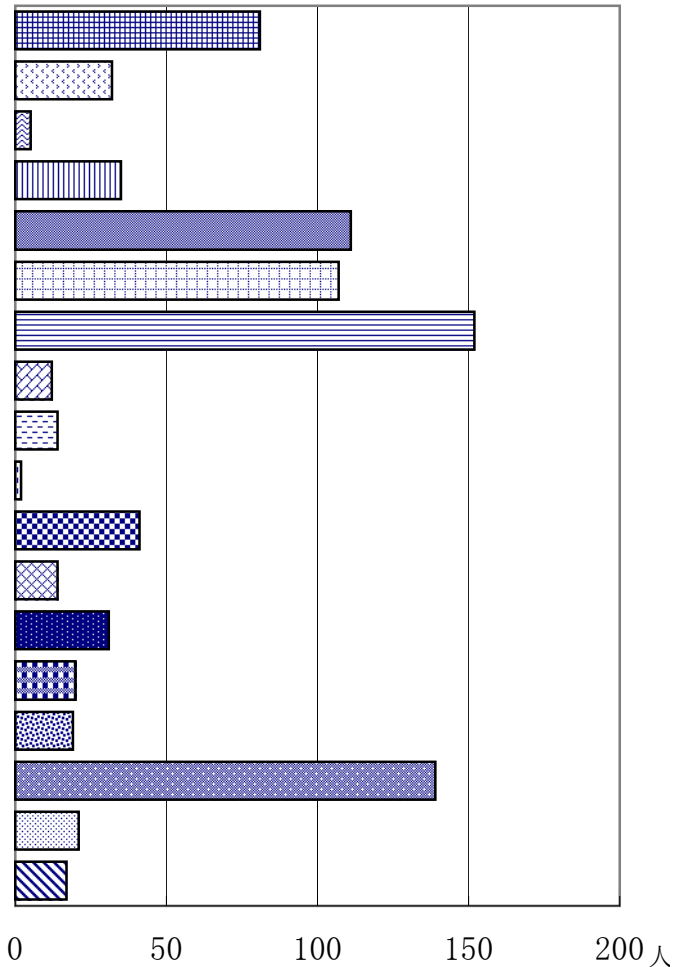


今回の総選挙において、候補者や政党が行った選挙運動にどれくらい関心を持ったか尋ねたところ、「非常に関心をもった」と「多少関心をもった」の合計が77.8%(前回:69.2%)となった。

問20 投票の参考としたもの（複数回答）（※）

個人(政党)演説会	81	16.8%
街頭演説	32	6.6%
連呼	5	1.0%
新聞広告	35	7.3%
政見放送	111	23.0%
選挙公報	107	22.2%
マニフェスト	152	31.5%
ポスター・看板	12	2.5%
ビラ・はがき	14	2.9%
電話	2	0.4%
家族との話	41	8.5%
近所の評判	14	2.9%
知人などのすすめ	31	6.4%
仕事関係のすすめ	20	4.1%
町内会の推せん	19	3.9%
新聞・テレビ報道	139	28.8%
その他	21	4.4%
無回答	17	3.5%

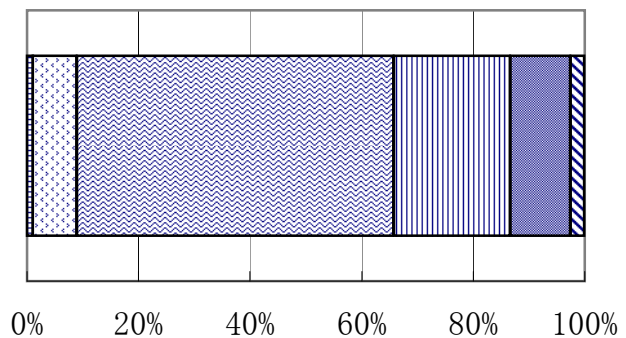
※・・・回答者数(482人)に占める割合



今回の総選挙において、どの候補者又は政党に投票するかを決めるときに参考にしたものについて尋ねたところ、「マニフェスト」が31.5%（前回：15.8%）と最も多く、次いで「新聞・テレビ報道」（28.8%）、「政見放送」（23.0%）、「選挙公報」（22.2%）の順となっている。





問21 国民審査への関心

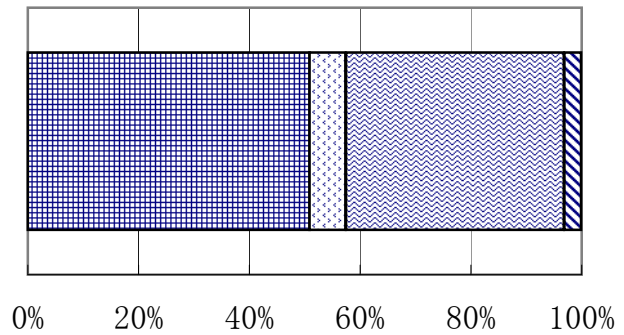
よく調べた	5	1.0%
多少調べた	38	7.9%
全く調べなかった	274	56.8%
投票しなかった	101	21.0%
わからない	52	10.8%
無回答	12	2.5%



今回の総選挙と同時に行われた最高裁判所裁判官国民審査において、審査される裁判官の人物や業績を調べたか尋ねたところ、「全く調べなかった」が56.8%（前回：55.5%）である一方、「よく調べた」と「多少調べた」が合計で8.9%（前回：9.5%）となっており、前回と同様の傾向を示している。

問22 今回の衆院選で明るくきれいな選挙は行われたか

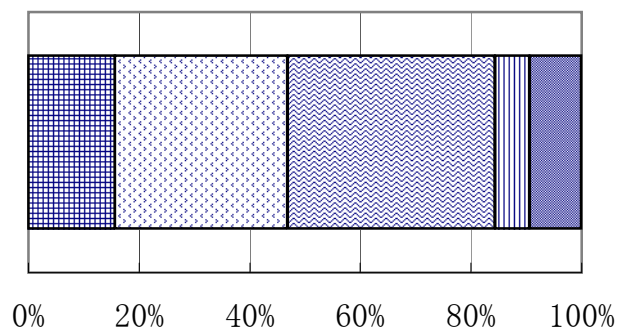
	行われていた	245	50.8%
	行われていない	32	6.6%
	わからない	190	39.4%
	無回答	15	3.1%



今回の総選挙において、明るくきれいな選挙が行われたか尋ねたところ、「行われていたと思う」が50.8%（前回:40.4%）、「わからない」が39.4%（前回:44.8%）の順となっている。

問23 明るい選挙が行われていない原因

	有権者個人	5	15.6%
	政党	10	31.3%
	候補者や選挙運動員	12	37.5%
	取締りのやり方	2	6.3%
	社会	3	9.4%
	わからない	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%

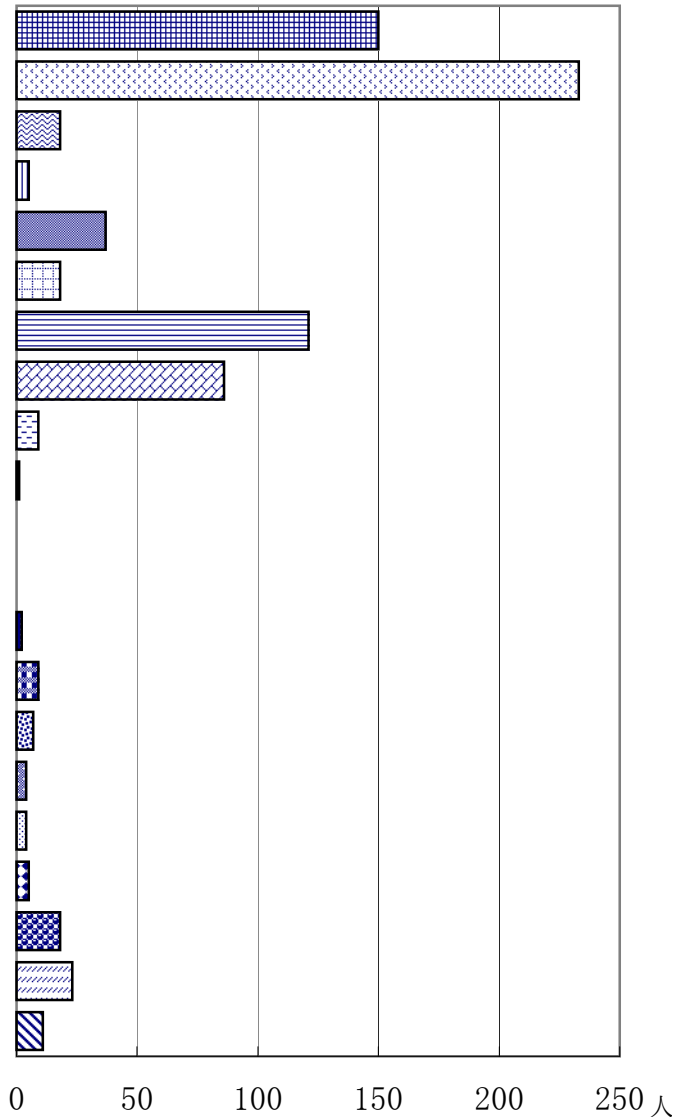


問22で、「明るい選挙が行われていない」と回答した人に、その原因を尋ねたところ、「候補者や選挙運動員に原因がある」が37.5%（前回:18.2%）と最も多く、次いで「政党に原因がある」が31.3%、「有権者個人に原因がある」が15.6%の順となっている。

問24 印象に残る啓発活動（複数回答）（※）

新聞広告	150	31.1%
テレビ広告	233	48.3%
ラジオ広告	18	3.7%
宅配トラック広告幕	5	1.0%
啓発ポスター	37	7.7%
啓発チラシ	18	3.7%
市町村の広報紙	121	25.1%
広報車	86	17.8%
垂れ幕・看板	9	1.9%
床面広告	1	0.2%
コンビニATM広告	0	0.0%
電光掲示板	0	0.0%
有線放送	2	0.4%
風船やティッシュ配布	9	1.9%
イベント	7	1.5%
のぼり旗	4	0.8%
インターネット	4	0.8%
その他	5	1.0%
見聞きしなかった	18	3.7%
わからない	23	4.8%
無回答	11	2.3%

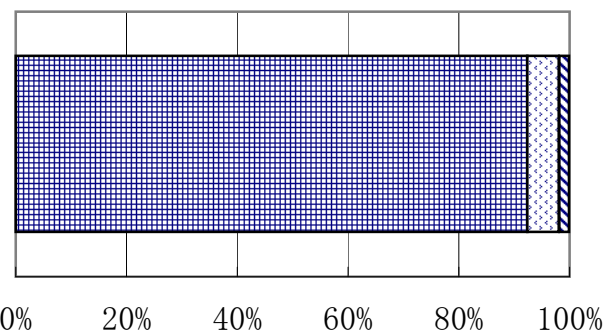
※・・・回答者数(482人)に占める割合



今回の総選挙の際に行われた啓発活動のうち、印象にあるものを尋ねたところ、「テレビ広告」が48.3%（前回：45.0%）、「新聞広告」が31.1%（前回：33.9%）とマスメディアによる啓発活動の印象が高く、次いで、「市町村の広報紙」が25.1%（前回：19.7%）、「広報車」が17.8%（前回：13.5%）の順となっており、前回と同様の傾向を示している。





問25 寄附禁止の認知度

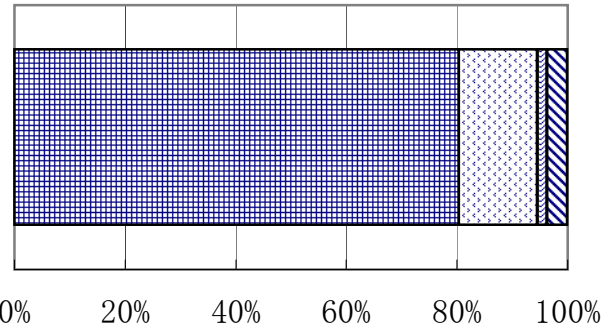
知っている	445	92.3%
知らない	28	5.8%
無回答	9	1.9%



公職の候補者に係る寄附禁止制度について知っているか尋ねたところ、「知っている」が92.3%（前回：94.9%）となっている。

問26 期日前投票制度の認知度

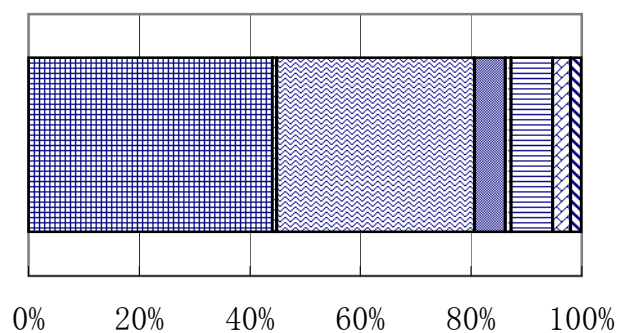
	制度も方法も知っている	387	80.3%
	制度は知っている、方法は知らない	69	14.3%
	知らない	8	1.7%
	無回答	18	3.7%



期日前投票制度を知っているか尋ねたところ、「制度も投票方法も知っている」と「制度は知っているが、投票方法は知らない」の合計で94.6%（前回：97.9%）となっている。






問27 期日前投票をどのような方法で知ったか

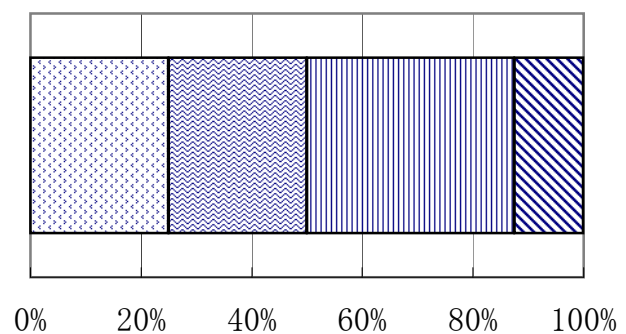
	以前期日前投票した	201	44.1%
	法律を調べた	4	0.9%
	テレビ等	163	35.7%
	インターネット	0	0.0%
	新聞・雑誌	25	5.5%
	ポスター	5	1.1%
	友人・知人から	34	7.5%
	その他	15	3.3%
	無回答	9	2.0%



問26で、期日前投票制度を「知っている」と回答した人に、どのような方法で知ったのかを尋ねたところ、「以前期日前投票した」が44.1%（前回：34.6%）、「テレビやラジオ番組で知った」が35.7%（前回：39.7%）の順となっている。





問28 前もって投票することについて

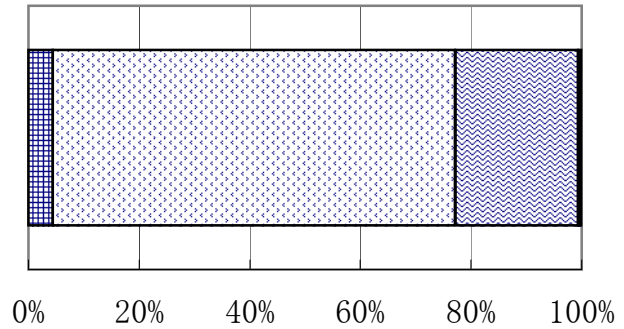
	投票日に限るべき	0	0.0%
	やむを得ない場合のみ	2	25.0%
	どんな理由であれよい	2	25.0%
	わからない	3	37.5%
	無回答	1	12.5%



問26で、期日前投票制度を「知らない」と回答した人に、投票日以前に前もって投票することについてどのように思うかを尋ねたところ、「投票日に限るべき」と考える方の割合が少なくなっている（前回：4.8%）。





問29 投票時間延長について

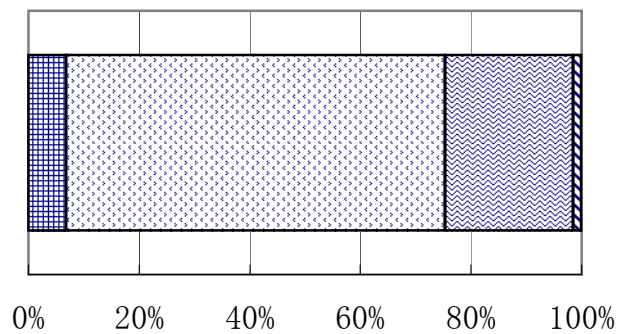
	延長すべき	21	4.4%
	ちょうどよい	351	72.8%
	短くすべき	107	22.2%
	無回答	3	0.6%



午前7時から午後8時までの投票時間についてどのように思うかを尋ねたところ、「ちょうどよい」が72.8%（前回：71.9%）と、前回と同様の傾向を示している。








問30 投票所までの距離

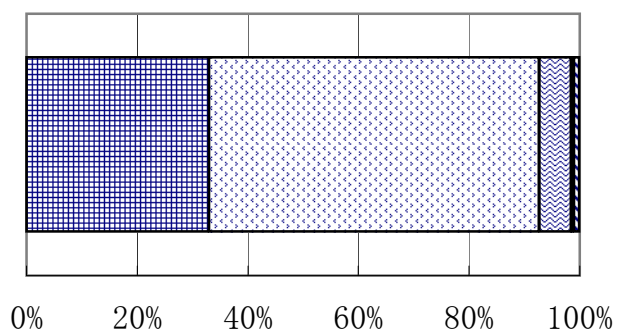
	遠い	33	6.8%
	ちょうどよい	330	68.5%
	近い	112	23.2%
	無回答	7	1.5%



投票所までの距離について尋ねたところ、「ちょうどよい」が68.5%で最も多くなっている。




問31 投票所までの交通機関

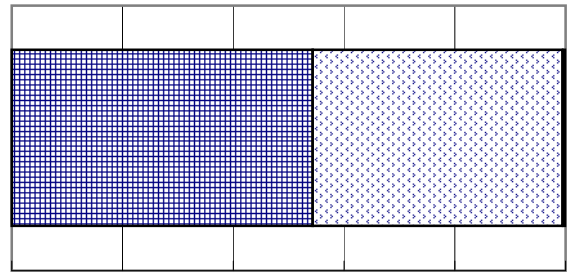
	徒歩	159	33.0%
	自家用車	288	59.8%
	自転車	28	5.8%
	バイク	1	0.2%
	バス	0	0.0%
	その他	1	0.2%
	無回答	5	1.0%



投票所までの交通機関を尋ねたところ、「自家用車」が59.8%で最も多くなっている。








問32 性別

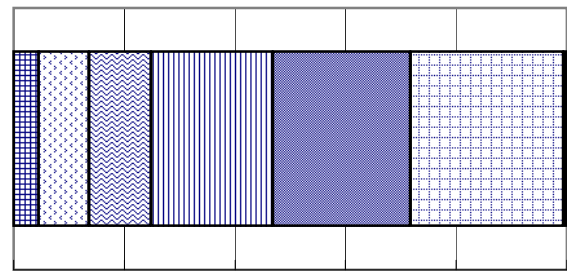
	男	262	54.4%
	女	218	45.2%
	無回答	2	0.4%



0% 20% 40% 60% 80% 100%

問33 年齢

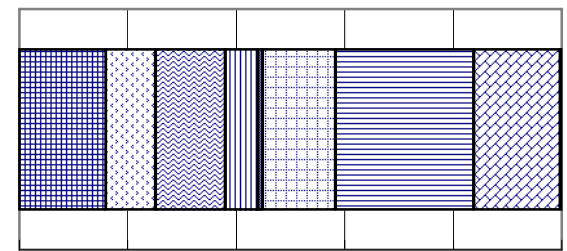
	20～29歳	22	4.6%
	30～39歳	44	9.1%
	40～49歳	54	11.2%
	50～59歳	106	22.0%
	60～70歳	120	24.9%
	71歳以上	133	27.6%
	無回答	3	0.6%



0% 20% 40% 60% 80% 100%

問34 職業

	農林漁業	77	16.0%
	商工業	44	9.1%
	サービス業	62	12.9%
	自由業	29	6.0%
	学生	4	0.8%
	主婦・主夫	65	13.5%
	無職	123	25.5%
	その他	77	16.0%
	無回答	1	0.2%



0% 20% 40% 60% 80% 100%

衆議院議員総選挙についての意識調査 調査票

お住まいの市町村名 _____

アンケート項目に対するお答えは、あなたのお考えに最も近いものの番号を○で囲んでください
なお、お答えが「その他」のときは、その内容を（ ）内に具体的に御記入願います。



問1 あなたは、政治について、どの程度関心をおもちですか。

- 1 非常に関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 あまり関心がない → 問2にお答えください。
- 4 まったく関心がない → 問2にお答えください。

問1で、3又は4と答えた方にお聞きします

問2 政治に関心がないのは、なぜですか。

- 1 政治は、日常の暮らしに関係がうすいから
- 2 個人の意見が、政治に反映されないから
- 3 政治は、むずかしくてよくわからないから
- 4 忙しく、政治について考えるひまがないから
- 5 政治そのものに、関心がないから
- 6 その他（ ）

問3 あなたは、今の政治にどの程度満足していますか。

- 1 かなり満足している
- 2 まあまあ満足している
- 3 やや不満である
- 4 かなり不満である
- 5 どちらともいえない
- 6 わからない

問4 あなたは支持する政党がありますか

- 1 ある
- 2 ない

問5 平成21年8月30日に行われた衆議院議員総選挙について、あなた自身はどれくらい関心を持ちましたか。

- 1 非常に関心をもった
- 2 多少は関心をもった
- 3 あまり関心をもたなかった
- 4 全く関心をもたなかった

問6 平成21年8月30日に行われた衆議院議員総選挙で、あなたは投票率の増減についてどれくらい関心を持ちましたか。

- 1 非常に関心をもった
- 2 多少は関心をもった
- 3 あまり関心をもたなかった
- 4 全く関心をもたなかった

問7 あなたは選挙での投票について、この中のどれに近い考えをお持ちですか。

- 1 投票することは、国民の義務である
- 2 投票することは、国民の権利であるが、棄権すべきではない
- 3 投票するかしないかは、個人の自由である
- 4 棄権も意思表示の一つである
- 5 その他 ()

問8 近年の選挙において、投票率の低下が目立っていますが、このことについて、あなたはどのように思いますか。

- 1 投票するかしないかは個人の自由であり、別にかまわない
- 2 自分たちの代表を選ぶ選挙なので好ましくないが、やむをえない
- 3 何らかの対策を構じるべきである
- 4 わからない
- 5 その他 ()

問9 あなたは、投票率が低下している理由は何だと思えますか。

- 1 政治より自分のことを考える人が多いから
- 2 支持できる政党や候補者がいないから
- 3 有権者の政治への不満や不信のあらわれ
- 4 投票しても政治はよくならないと考える人が多いから
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問10 あなたは、投票率を上げるために、どのようなことを行うべきだと思いますか。

- 1 棄権防止のため、罰則を設けるべきである
- 2 必ず投票する人を表彰するなど、褒賞制度を設けるべきである
- 3 選挙制度の改正などにより、有権者が投票しやすい環境をつくるべきである
- 4 選挙運動を自由にして、選挙への関心や参加を高めるべきである
- 5 政治や選挙に興味をもたせるように、教育や啓発活動に力を入れるべきである
- 6 自然の成り行きにまかせるべきで、何も行う必要はない
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問11 あなたは平成21年8月30日に行われた衆議院議員総選挙では、投票しましたか。

- 1 投票した → 問12～17にお答えください。
- 2 投票しなかった → 問18にお進みください。

問 12～17 は、問 11 で 1（投票した）と答えた人にお聞きします。

問 12 このたびの衆議院議員総選挙で、投票に行かれたのはどういう気持ちからですか。

- 1 どうしても当選させたい候補者や、応援したい政党があったから
- 2 今の政治に不満があり、それを改めたいと思ったから
- 3 政治をよりよくするためには、投票することが大事だから
- 4 投票するのは、国民の義務だから
- 5 団体、組織、知り合いにたのまれて
- 6 投票日に特に予定がなかったから
- 7 その他（)
- 8 わからない

問 13 小選挙区の選挙では、あなたは政党の方に重きをおいて投票しましたか、それとも候補者個人に重きをおいて投票しましたか。

- 1 政党に重きをおいて → 問 14 にお進みください。
- 2 候補者個人に重きをおいて → 問 15 にお進みください。
- 3 一概にいけない
- 4 わからない

問 13 で 1（政党に重きをおいて）と答えた人にお聞きします。

問 14 政党の方に重きをおいて投票した理由は何ですか。

- 1 私はその党の党员だから
- 2 私はその党の候補者の後援会に入っているから
- 3 その党の政策や活動を支持するから
- 4 なんとなくその党が好きだから
- 5 その他（)
- 6 わからない

問 13 で 2（候補者個人に重きをおいて）と答えた人にお聞きします。

問 15 候補者個人に重きをおいて投票した理由は何ですか。

- 1 小選挙区選挙はとかく人物が大切だから
- 2 その候補者の後援会に入っているから
- 3 その候補者は識見や実績の点で優れているから
- 4 その候補者は清潔な人だから
- 5 その候補者は安心できる人だから
- 6 職場や団体の関係でその人をすすめられたから
- 7 その他（)
- 8 わからない

問 16 比例代表の選挙についてお聞きします。比例代表選挙で、その党に投票した主な理由は何ですか。

- 1 その党の政策や活動を支持するから
- 2 なんとなくその党が好きだから
- 3 他の党よりましだから
- 4 私の支持する人が入っている党だから
- 5 私の支持する人が党の名簿に載っていたから
- 6 全体としてみて、名簿に載った候補者がよかったから
- 7 職場や団体の人のすすめだから
- 8 家族や知人のすすめだから
- 9 その他（)
- 10 わからない

問 22 で 2 (思わない) と答えた人にお聞きします。

問 23 明るくきれいな選挙が行われていない原因は、どこにあると思いますか。

- | | | |
|-----------------|------------|-------------------|
| 1 有権者個人に原因がある | 2 政党に原因がある | 3 候補者や選挙運動員に原因がある |
| 4 取締りのやり方に原因がある | 5 社会に原因がある | 6 わからない |
| 7 その他 (| |) |

問 22 で 1 (思う) 又は 3 (わからない) と答えた人にお聞きします。

問 24 このたびの衆議院議員総選挙で「投票に参加しましょう」という呼びかけを、明るい選挙を推進する民間団体や国や県・市町村で行いましたが、あなたが見たり聞いたりしたもののうち、印象に残っているもの、または効果があると思うものを2つまで選んでください。

- | | | |
|-------------------|----------------------|----------|
| 1 新聞広告 | 2 テレビ広告 | 3 ラジオ広告 |
| 4 宅配トラック等の広告幕 | 5 啓発ポスター | 6 啓発チラシ |
| 7 市町村の広報紙 | 8 広報車 | 9 垂れ幕、看板 |
| 10 床面広告 | 11 コンビニATM広告 | 12 電光掲示板 |
| 13 有線放送 | 14 街頭における風船やティッシュの配布 | |
| 15 パレードなどのイベント | 16 のぼり旗 | |
| 17 インターネット、ホームページ | | |
| 18 その他 (| |) |
| 19 見聞きしなかった | 20 わからない | |

問 25 公職にある人や立候補予定者が選挙区内の人に寄附したり、選挙区内の人がこれらの人に寄附を求めたりすることは、選挙の時に限らず禁止されています。あなたはこのことを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 26 選挙では、投票日当日に用事があって投票所に行くことができない方のために、「期日前投票」という制度がありますが、あなたはこの制度を知っていますか。また、投票方法についてはどうですか。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 制度も、投票方法も知っている | → 問 27 にお進みください |
| 2 制度は知っているが、投票方法は知らない | → 問 27 にお進みください |
| 3 制度も、投票方法も知らない | → 問 28 にお進みください |

問 26 で 1 又は 2 と答えた人にお聞きします。

問 27 期日前投票制度について、どのような方法で知りましたか。

- | | | |
|-----------------|------------------|---|
| 1 以前実際に期日前投票をした | 2 自分で公職選挙法を調べた | |
| 3 テレビやラジオ番組で知った | 4 インターネットで知った | |
| 5 新聞、雑誌、チラシで知った | 6 掲示してあるポスターで知った | |
| 7 友人知人から教えてもらった | 8 その他 (|) |

問 26 で 3 と答えた人にお聞きします。

問 28 投票日の以前に、前もって投票することについて、どのように思いますか。

- 1 投票は定められた投票日に限って行うべきだ
- 2 真にやむを得ない理由がある場合のみ、前もって投票することを認めてもよい
- 3 どんな理由であれ前もって投票できることはよいことだ
- 4 わからない

問 29 投票時間は、午前 7 時から午後 8 時までとなっていますが、あなたは、この投票時間についてどのようにお考えですか。

- 1 もっと延長すべきだ
- 2 ちょうどよい
- 3 短くすべきだ

問 30 投票所までの距離をどのように思いますか。

- 1 遠い
- 2 ちょうどよい
- 3 近い

問 31 投票所までの交通手段はどのようなものをお使いですか。

- 1 徒歩
- 2 自家用車
- 3 自転車
- 4 バイク
- 5 バス
- 6 その他 ()

~~~~~  
御意見をお伺いするのは以上ですが、この結果を統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。

問 32 性別

- 1 男
- 2 女

問 33 年齢

- 1 20～24歳
- 2 25～29歳
- 3 30～39歳
- 4 40～49歳
- 5 50～59歳
- 6 60～70歳
- 7 71歳以上

問 34 あなたのご職業は何ですか。

- 1 農林漁業
- 2 商工業
- 3 サービス業
- 4 自由業
- 5 学生
- 6 主婦・主夫
- 7 無職
- 8 その他 ( )

御協力、誠にありがとうございました。

